



上海便り

上海日本人学校
浦東校
H24 年度派遣
横山 由佳



☆大・大・大規模校！！上海日本人学校

上海日本人学校は、現在、上海市の中心部より西側にある虹橋校と、黄浦江を隔てて東側にある浦東校の2校に分かれています。私が勤務している浦東校は、虹橋校の急激な児童生徒の増加に対応するために、平成18年4月に新設された校舎です。また、昨年度から高等学校も新設され、まさに、世界最大の日本人学校です。

虹橋校には、小学部のみで約1500人、浦東校には、小学部に約800人、中学部に約700人の児童生徒が在籍しています。そのうち、私が担任している小学部の1年生は、5学級で160人です。

発展著しい上海にあって、上海日本人学校に通う児童生徒の急増は留まるところを知らず、来年度は、浦東校だけでも1700人以上になる見込みです。そのため、既に校舎の増設も決定しています。



☆整った教育施設

海外で生活する子どもたちに、日本の教育を行うための素晴らしい施設が整っています。

医師と監視員が常駐している、室内温水プール
(冬でも入れますが、子どもが多いために、体育の授業で入水するのは、日本の方が多かった・・・)



1周200メートルのトラックと人工芝のグラウンド

とろも広い図書室には、29000冊もの本があります。普通の貸し出しの他にも、学習で、昔話の本や色々な自動車の本など活用しました。保護者ボランティアの方々による読み聞かせも行なっています。



その他にも、施設がたくさんあります。しかし、ここは中国。日本では当たり前のことでも、できないこともあります。うがいは、水道の水ではなく、水筒に持ってきたお茶や水で行っています。水道水は、基本的に日本のように飲み水として利用されるものではなく、飲み水は購入するのが一般的だからです。また、学習面でも、1年生の生活科で行った「秋みつけ」では、どんぐりを購入して行うなどの不便さがありました。日本とは環境や風土も違うので、当たり前に使っていたものがそろわないこともあります。

☆生活時程

上海日本人学校浦東校では、小学部と中学部が同じ校舎で学んでいます。大人数のため、休憩時間をずらして、遊び場所の確保をしたり、学習の間の休みが10分間あったりと、日本とは少し違う生活時程になっています。

時刻	小学部低学年		小学部			中学部		時刻
	月	早帰り	早帰り	遅帰り	早帰り	遅帰り		
8:15~8:25			授業準備					8:15~8:25
8:25~8:35			朝読書					8:25~8:35
8:35~8:50			朝の学級活動					8:35~8:50
8:50	1校時	1校時	1校時	1校時	1校時		8:50	
9:35	準備時間	準備時間	準備時間	準備時間	準備時間		9:35	
9:45	2校時	2校時	2校時	2校時	2校時		9:45	
10:30	準備時間	準備時間	準備時間	準備時間	準備時間		10:30	
10:40	3校時	3校時	3校時	3校時	3校時		10:40	
11:25	準備時間	準備時間	準備時間	準備時間	準備時間		11:25	
11:35	ドラゴンタイム	ドラゴンタイム	ドラゴンタイム	4校時	4校時		11:35	
11:50	昼食時間	昼食時間	昼食時間				12:20	
12:20	準備時間						12:20	
12:25	(4校時)	昼休み	昼休み	昼食時間	昼食時間		12:45	
12:45		準備時間	準備時間	マルチタイム	マルチタイム		12:45	
13:15	準備時間	4校時	4校時	昼休み	昼休み		13:05	
13:25	バスへの移動						13:3	
13:35		準備時間	準備時間	準備時間	準備時間		13:3	
13:40		5校時	5校時	5校時	5校時		13:40	
14:30		準備時間	準備時間	準備時間	準備時間		14:25	
14:40		バスへの移動					14:35	
		6校時	6校時	6校時	6校時		15:2	
		掃除時間	掃除時間	掃除時間	掃除時間		15:4	
		帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会		15:5	
		バスへの移動	バスへの移動	移動時間			16:0	
		16:05	16:05				16:0	
				部活			16:5	
				バスへの移動			17:05	

授業の間は、中学部に合わせ7分10分間。

午前中に、中間休憩はない。

小学部は、午前中授業が3校時まで。

昼食は、毎日お弁当。給食が懐かしい。

週に1回ずつ、中国語と英会話の時間がある。

ドラゴンタイムは、国語や算数などの補充学習の時間です。

朝読書をしている。子どもたちは、家から持ってきた本や学級や図書室にある本を読んでいる。

中学部は、4校時までに行くことで、昼休みの時刻を小学部とずらしている。

登下校の方法は、バスやお迎えなど。登校班や子どもたちだけで歩いて帰ることはありません。

☆日本とは違う！！登下校方法

浦東校では、多くの児童・生徒がバス通学をしています。行き先や大小は様々ありますが、約60台ものバスがあります。その他にも、お家の方と一緒に登下校したり、学校に直結しているマンションから通学したりしている児童生徒もいます。小学部だけや小中一斉の下校がありますが、どちらも同じ時刻に大人数が移動するため、大騒動です。教職員は、安全に登下校できるよう見守りが欠かせません。



☆おわりに・・・

日本では、様々な報道がされ、中国への印象があまり良くないものになっているかもしれません。特に今年度は、日中関係の悪化に伴い、計画していた運動会や現地校交流（中国の学校の子どもたちと、学年ごとに交流する会）などの行事が実施できないという状況もありました。とても大きな学校で、学校の中にいると、日本と変わらないような気持ちになりますが、やはり、ここは海外であるということを感じるところもたくさんありました。しかし、実際に生活していると、その国の良さを見付けることもできます。自分の目で物事をしっかりと見て判断することの大切さを、改めて感じているところです。